

南ア月報
(2021年11月)

【内政】

- 地方選挙の実施
- デクラーク元大統領の逝去
- 警戒レベル（「調整されたレベル1」）の維持
- 国家的災害事態の延長

【外政】

- ラマポーザ大統領のエスワティニ訪問
- パンドール国際関係・協力大臣のアルジェリア及び「西サハラ」訪問
- IORA 閣僚会合
- パンドール国際関係・協力大臣のベルギー及びオランダ訪問
- ケニヤッタ大統領の南ア国賓訪問
- 中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数
- 為替レート
- 失業率

<出来事>

- 中期財政政策演説
- 南ア準備銀行(中銀)が政策金利を3.75%に引き上げ
- タスクチームを設置

【警備】

- 南ア治安情勢

1 内政

●地方選挙の実施

1日、地方選挙が実施され、投票率は約45%であった。与党アフリカ民族会議(ANC)の得票率は50%を下回る結果となった。

●デクラーク元大統領の逝去

11日、デクラーク元大統領が逝去。享年85歳。

●警戒レベル(「調整されたレベル1」)の維持

28日、ラマポーザ大統領は演説を行い、南アにおける警戒レベルを「調整されたレベル1」のまま維持することを発表した。

●国家的災害事態の延長

13日、南ア政府は国家的災害事態(the national state of disaster)の1ヵ月延長(2021年12月15日まで)を発表した。

2 外政

●ラマポーザ大統領のエスワティニ訪問

2日、ラマポーザ大統領は、SADC政治・防衛・安全保障オーガン議長として、現下のエスワティニ情勢に関し協議するために、パンドール国際関係・協力大臣を伴い同国を訪問し、ムスワティ3世国王に謁見した。ムスワティ3世国王が実施する国民対話(sibaya)に向けて、エスワティニ憲法を遵守しつつ、SADCとして国民対話の実施に協力することが合意された。

●パンドール国際関係・協力大臣のアルジェリア及び「西サハラ」訪問

13日~14日、パンドール大臣はアルジェリア及び「西サハラ」を訪問。アルジェリアでは、ラマムラ外相と会談を行い、2000年に首脳級レベルに引き上げられた二国間委員会の実施、地域情勢及び国際情勢に関する意見交換を行った。

●IORA閣僚会合

17日、パンドール国際関係・協力大臣は、バングラデシュで開催された第21回環インド洋連合(IORA)閣僚会合に出席。南アは、環インド洋アカデミック・グループ(IORAG)の議長に就任した。

●パンドール国際関係・協力大臣のベルギー及びオランダ訪問

19日~20日、パンドール大臣はベルギー及びオランダを訪問した。ベルギーは、南アの対欧州貿易において重要なアントワープ港を有する重要な経済相手国であり、今次訪問では両国の関係強化に関する協議が行われた他、南ア・EU協議も開催された。オランダでは、第2回二国間共同委員会において、貿易・投資、農業、水、文化及び科学・イノベーションに係る協議が行われた。

●ケニヤッタ大統領の南ア国賓訪問

22日~24日、ケニヤッタ・ケニア大統領がラマポーザ大統領の招待により国賓訪問した。同訪問中、両国は、協力関係をより強化することを目的に、南ア航空とケニア航空の戦略的パートナーシップをはじめ、外交交渉、観光、運輸、保健等の分野に関する

8つの覚書に署名した。なお、今次訪問に先駆けて、本年8月にナイロビで第1回ケニア・南ア共同委員会が開催されている。

●中国・アフリカ協力フォーラム（FOCAC）

29日、ラマポーザ大統領は、セネガルで開催された第8回FOCAC閣僚会合にオンラインで出席した。現地には、マシェゴ＝ドラミニ国際関係・協力副大臣が訪問し、同会合に出席した。ラマポーザ大統領は、オープニング・セレモニーにおいて、FOCACはアフリカの声を国際場裏で発信するための重要なプラットフォームであり、引き続き中国によるアフリカへの投資を、特に港湾、鉄道、エネルギーと水及び人材育成等の主要分野で歓迎する旨述べた。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数

2021年10月の年間消費者物価インフレーション率は5.0%で前月と横ばい、消費者物価指数（CPI）は前月から0.2%上昇した。（南ア統計局、11月17日）

●為替レート

2021年11月30日付（南ア準備銀行）

7.0120 ランド/円

16.1259 ランド/米ドル

18.2860 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2021年9月の製造業は、前年同月比1.3%増。主なプラス要因は、木材及び木材製品、紙、出版及び印刷で13.4%増。鉄鋼、非金属製品、金属製品及び機械で4.0%増。食料品及び飲料で2.3%増。自動車及び輸送機器関連製品で6.3%増。

また過去3ヶ月（2021年第3四半期）の季節調節後生産高は2021年第2四半期から3.9%減。製造業10部門中の8つの部門で生産高減となった。（南ア統計局、11月11日）

●鉱業生産高

2021年9月の鉱業生産高は、前年同月比3.4%減。主なマイナス要因は、石炭で8.9%減、白金で7.5%減、金で6.9%減。

また過去3ヶ月（2021年第3四半期）の季節調節後生産高は2021年第2四半期から0.6%減となった。（南ア統計局、11月11日）

●失業率

南ア統計局は2021年第3四半期の失業率を34.9%と発表。2008年の調査以来、最も高い数字であった。その主な理由としては、第2四半期と第3四半期の間に、「就労者」と「失業者」の多くが、「経済的非活動者」のカテゴリーに移動したため。前期に比べ就業者数、失業者数はそれぞれ66万人、18万3千人減少した一方、経済的

非活動者数は98万8千人増加した。(南ア統計局、11月30日)

<出来事>

●中期財政政策演説

11日、ゴドングワーナ財務大臣は2021年度中期財政政策演説を行った。ポイントは以下の通り。

- (1) 2021年前期、南ア経済は低金利、強い国債需要の支え、商品価格の上昇と厳しい新型コロナウイルス対策を反映し、想像を超えるスピードで回復。2021年GDP成長率はプラス5.1%予想。今後3年間での成長率は平均プラス1.7%と予測されるが、景気回復の早さはワクチン接種次第。
- (2) 2021/22年度の財政赤字はGDP比7.8%と予測されているが、2024/25年度にはGDP比で4.9%にまで下がる見込み。
- (3) 今後3年間、政府は短期的支出措置と構造改革の両輪で、財政再建とともに、景気回復と復興支援のバランスをとっていく。
- (4) 公的支出の抑制を継続し、国営企業への中期的な追加資金供給は行わない。
- (5) 低炭素経済への移行を支援するためのパートナーからの資金援助の約束を歓迎。

●南ア準備銀行(中銀)が政策金利を3.75%に引き上げ

18日、南ア準備銀行は、金融政策決定会合を開き、政策金利を3.75%に引き上げることを発表した。これは、インフレのリスクが高まっているという判断から。また、2021年のGDP成長率の見通しを0.1ポイント引き下げ、5.2%とした。

●タスクチームを設置

28日、ラマポーザ大統領は、南ア政府が、特定の活動や場所でのワクチン接種の義務化について幅広く議論を行うタスクチームを設置した旨を発表した。

4 警備

●南ア治安情勢

11月28日(日)夜、プレトリア市内にて、邦人が信号停止していたところ、近寄ってきた物乞い風の男性に、カーナビとして利用するため窓ガラスに貼り付けていたスマートフォンを、開けていた窓から手を差し入れられ盗まれる事件が発生した。

車を運転するときは、窓を閉めて走行する、車内の見える場所に所持品を置かない、信号などで停止する際は退路を確保するために前の車と間隔をあけて停車し周囲の状況に警戒するなどの安全対策が肝要である。